「市長が語る！－いまの盛岡、未来の盛岡－」（盛岡会場）概要

日　時　　令和８年８月６日（木）午後６時 30 分～午後８時 46 分
場　所　　プラザおでって　おでってホール
参加者数　　102 人

令和８年８月６日、「市長が語る！－いまの盛岡、未来の盛岡－」（盛岡会場）を開催し、市政運営やまちづくりについて幅広いご意見をいただきました。参加者の主なご意見と、それに対する市長の発言を紹介します。

ホームページ掲載向けに、参加者の発言をテーマごとに整理し、それに対応する市長の発言を対比させた要約です。個人名は掲載せず、参加者の意見としてまとめています。

内容

１子育て・教育支援 1
２人口減少対策・雇用創出 2
３観光振興・まちの魅力発信 2
４財政運営・事業見直し 3
５ふるさと納税 3
６地域コミュニティ・町内会 3
７公共交通・コンパクトなまちづくり 4
８ごみ処理・環境対策 4
９市政への参加と対話 4
10 その他 4
11 総括 5
参加した方の意見・感想 5

１子育て・教育支援

■参加者の意見
・学童保育利用補助金を継続・拡充してほしい。
・５歳児健診の実施後、発達に課題のある子どもへの支援や就労につながる取組を教えてほしい。
・大学生や高校生など若者の活動への支援、教育懇談会の開催、スポーツ活動の充実を進

めてほしい。
・保育士不足への対応や保育士への直接支援を充実させてほしい。
■市長の発言
・学童保育は重要な施策と認識しており、全体の財政状況を踏まえながら検討していく。
・５歳児健診はまず実施し、その結果を踏まえて必要な支援につなげていく。
・若者が主体となるまちづくり活動を高く評価しており、学生のアイデアを実際の施策につなげる仕組みについて検討している。
・子どもや若者の声を丁寧に受け止めながら、将来を担う世代への支援に取り組む。

２人口減少対策・雇用創出

■参加者の意見
・人口減少への具体的な対応策を知りたい。
・学校、企業、行政が連携し、農業とＩＴなど異分野を組み合わせた産業振興を進めてほしい。
・民間事業者との連携をさらに進めるべき。
■市長の発言
・総合計画は人口減少対策を最重要課題として策定している。
・民間と行政、農業とＩＴなど、これまで交わらなかった分野を掛け合わせる発想が重要である。
・民間の力を最大限発揮できる環境づくりを進め、市役所内部も部局横断の連携を強化していく。

３観光振興・まちの魅力発信

■参加者の意見
・盛岡ブランドの明確化や観光資源の発信を強化してほしい。
・盛岡らしい特色が伝わるまちづくりや情報発信が必要。
・いわて盛岡シティマラソンや観光イベントを継続してほしい。
・観光事業者の意見を聞く場を作ってほしい。
■市長の発言
・観光は重要な成長分野であり、市民や事業者と連携しながら進めていく。
・盛岡ブランドの在り方について改めて検討を進めている。
・イベントについては廃止を前提とするのではなく、民間との連携により持続可能な運営方法を模索している。
・市民や事業者が主体的に参画できる取組を増やしていきたい。

４財政運営・事業見直し

■参加者の意見
・財政状況や基金残高、市債の将来負担に関する不安。
・事務事業見直し（123 事業）について、より丁寧な説明をしてほしい。
・将来人口を見据えた財政運営の方向性を示してほしい。
■市長の発言
・市民サービスを維持しながらも、将来世代に負担を残さない財政運営を進める。
・盛岡市を財政的に行き詰まらせないことが市長としての責任である。
・新しい施策を実現するためには、既存事業の見直しも必要である。
・説明不足の反省を踏まえ、市民との対話を重ねながら進めていく。

５ふるさと納税

■参加者の意見
・寄附額を増やす具体策や返礼品開発について知りたい。
・制度による税収流出の実態について知りたい。
■市長の発言
・ふるさと納税は市の重要な財源確保策であり、現在 5 億円から 10 億円を目標に取組を強化している。
・民間事業者と連携し、返礼品開発や営業活動を強化している。
・制度上の課題はあるものの、市民サービス維持のため積極的に取り組む。

６地域コミュニティ・町内会

■参加者の意見
・町内会の高齢化や担い手不足が深刻化している。
・地域ごとの実情に応じた支援が必要。
・市職員の対応改善、申請手続の簡素化を進めてほしい。
■市長の発言
・町内会や自治会は地域社会を支えてきた大切な仕組みである。
・当面は既存の仕組みを維持しながら、将来的な在り方について地域と一緒に考えていく。
・市民と市役所が協力して課題解決を図る体制づくりを進めたい。

7 公共交通・コンパクトなまちづくり

■参加者の意見
・乗合タクシーの利用料金や公共交通の維持、充実に取り組んでほしい。
・公共交通を中心としたコンパクトなまちづくりを推進してほしい。
■市長の発言
・乗合タクシーは公共交通ネットワークの実証事業として実施している。
・市街地は「歩いて楽しめるまち」を目指しながら、周辺地域の暮らしも維持していく。
・人口減少を見据えた持続可能なまちづくりを進める。

8 ごみ処理・環境対策

■参加者の意見
・広域ごみ処理施設への懸念、再検討を求める。
・ごみ減量やごみ袋有料化を検討すべき。
・事業者を含めた分別の徹底が必要。
■市長の発言
・ごみ処理は広域的な視点で考える必要がある。
・今後の人口減少も踏まえ、周辺自治体と協力しながら進める。
・ごみ袋有料化はごみ減量に有効な手法と考えているが、市民との十分な議論が必要である。

9 市政への参加と対話

■参加者の意見
・市長と直接意見交換できる機会を継続してほしい。
・市民の声が施策に反映される仕組みを構築してほしい。
■市長の発言
・市民の声を直接聞くことを重視している。
・市長への手紙や意見交換会などを通じて寄せられた意見は必ず確認している。
・「共に」をキーワードに、市民、事業者、行政が連携するまちづくりを進めていく。

10 その他

■参加者の意見
・盛岡市上下水道局広報「みずの輪」を広報もりおかの中に一本化することでの経費削減

を提案。
・若者が安心してスポーツに触れるような機会を作ってもらうような支援を要望。
・クマ対策が資料にないことへの懸念。
・早朝タクシー不足問題を提起。
・景観維持のため迅速な草刈りを提案。

11 総括

盛岡を将来にわたって持続可能なまちとして守り続けることが責任である。人口減少や財政課題に対応しながら、市民や事業者と力を合わせて新しい時代のまちづくりを進めていきたい。また、「共に」を合言葉に、市民との対話を継続していく。

~~~~~~

参加した方の意見・感想

■日時・会場設定について
・会場が市中心部で利便性が良かった。
・仕事や授業が終わった後の開催時間だったため、参加しやすかった。
・オンライン開催でも良いと思った。
■市政運営の説明に使用した冊子について
・市が推進する施策が具体的に表されており、理解しやすかった。
・市長が何を考え、何をしようとしているのかが分かった。
・総合計画の存在を知ってもらう意味では良いと思う。
・コンパクトにまとまっている。
・字は小さいが、それだけ伝えたいことが多くなったからと感じた。
・ただやることだけをまとめた総花的な冊子で、盛岡の未来に対するわくわく感がない。
・「盛岡」を他の市に入れ替えても違和感がなく、盛岡らしさを活かせていない。
・項目がありすぎてポイントをつかみにくい。
・字が細かく、どこが大事なのか、どこに力を入れているのか分からない。
・市民に市政を理解してほしいのであれば広報と一緒に全戸配布するべきではないか。
・人口減対策については将来人口推計を載せ、説明したほうが良いと思う。
・数字による説明がもっとほしいと感じた。
■懇談会の内容等について
・市政について考えるきっかけとなり、理解が深まった。
・参加者の意見を聞いたのが良かった。
・これからも市民の生の声を聞く機会を設定していただきたい。
~~~~~~

・市長に対してたくさんの意見や要望を話し、市長に届けたいと思っている市民の熱量は大きいと感じた。
・参加して良かった。盛岡で活動を興す強い想いがある人は高校生でも参加したほうが良いと感じた。
・市長が説明、回答する形式だけではなく、関心のある分野ごとに集まり、担当部長が説明、回答する形の懇談会も良いのではないかと思った。
・参加者全員から意見を聞くのではなく、希望される方から話していただき、回答、説明するような方法にしてほしかった。
・時間設定に間違いがあったのではないか。約 100 人から意見を聞くというのは無理があり、まとまりがつかなくなってしまったのではないか。
・90 分という時間設定が妥当なのか疑問。 120 分の設定にすることはできなかったのか。
・このような機会があるのは良いことであるが、時間配分や発言の仕方について工夫してほしい。
・定員を減らして回数を増やしたほうが良いと思う。
・事前に進め方や時間配分を明記して周知を行っていただきたい。